



2020年度 第2回 香臨技理事会議事録

日 時 ; 2020年6月29日（月） 19:00～21:00
 場 所 ; 香川大学医学部 臨床教育開発棟スキルラボラトリー 3階アドバンスルーム1
 出 席 者 ; 荒井 健（会長），宮川朱美（副会長），小原浩司（経理部長），立石謹也（事務局長）
 香西宜秀（学術部長），小林万代（広報部長），太田安彦（福祉部長），
 横内美和子・長町健一・高水竜一・有江啓二・三崎美江・篠原由美子・森本弘美（以上理事），
 多田達史（監事）
 時岡出津美（事務局）
 欠 席 者 ; 松村孝雄（副会長），泉宮 剛（監事）
 司 会 ; 荒井 健
 書 記 ; 太田安彦
 議事内容 ;

議事1. 2020年度香川県医学検査学会について

抄録も作成済みで4月19日に開催予定であったが現在延期の状態である。

一般演題7題、教育講演、シンポジウムの予定であったが、教育講演は次年度に持ち越しとした。

総会のみ5月24日に保健医療大学で行った。

＜意見交換＞

・長町理事より

* 8月、9月開催よりも本年度は見送って次年度開催が良いのではないか。
 * 学会誌は学会が開催できなければ作成は無理である。（例年、県学会で発表したものを作せて

いる）

・多田監事より

* Web発表などにしてはどうか。

・立石事務局長より

* 翌年になると発表内容が古くなってしまうので香臨技のHP上でWeb発表が良いのではないか。

* 他県ではWeb発表をしているところもある。

* 抄録の掲載、パネル発表形式（PowerPointなど）で行うのはどうか。

・長町理事より

* WebでPowerPointに音声を入れたものを掲載するより、来年口頭で発表することを選択する演者の方が多いのではないか。

・小林広報部長より

* 来年開催できるという保証は無いのでは。

・立石事務局長より

* 発表の機会を設けてあげることが大事なのではないか。

* 学会誌も発刊する方が望ましいと思う。

* 本年度Vol.2、次年度Vo1.1ともに協賛はすでにいただいているので断るのは気の毒である。

・宮川副会長より

* 保健医療大学でポスター発表という形での開催は出来ないか。

* 時間を決めてその時間で発表してもらうことは出来ないか。

* ポスター自体は1週間ほど掲示させてもらうのは可能か。

・荒井会長より

* 日臨技の研修、講習会等は令和2年内は中止、支部内のものは開催可能である。

＜決定事項＞

理事会で検討した結果、県学会は来年度開催とする。

1) 一般演題は古くなるが、そのまま来年度に持ち越しとする。

2) 協賛については本年度支払われた分は返金する。

- 3) 学会特集号は発刊しない。
- 4) 学会誌は10月締切りで募集をするが、集まらなければ発刊を見送る。

議事2. 学術部活動について

＜2020・2021年度研究班班長および副班長について香西学術部長より説明＞

新任

生物化学分析研究班

班長：田村順子（滝宮総合病院）

副班長：山地瑞穂（三豊総合病院）

副班長：山本由紀（キナシ大林病院）

輸血検査研究班

副班長：渡辺 良（香川労災病院）

微生物検査研究班

班長：藤川栄吏（香川労災病院）

副班長：原美佐子（香川県立中央病院）

生理検査研究班

班長：藤本正和（香川県立白鳥病院）

副班長：山本裕介（香川県立中央病院）

副班長：中石浩己（香川大学医学部附属病院）

一般検査研究班

班長：竹内彰浩（香川大学医学部附属病院）

副班長：石丸雄士（キナシ大林病院）

＜意見交換＞

・有江理事より

* 小施設分科会は以前からあるのか、また、どのようなことをしているか。

→香西学術部長

以前からある部門で、主に小施設における講習会などを行っている。

・荒井会長より

* 管理運営部門は班長や副班長は居ないのか。

→香西学術部長

引き受けれる人がいないので、学術部長と副部長で兼任する。

→長町理事

本当は班長・副班長が居た方が良いと思う。

＜決定事項＞

理事会で検討した結果、2020・2021年度研究班班長および副班長について承認された。

＜2020・2021年度支部学術部門員について香西学術部長より説明＞

大体は各研究班の班長が担当する。

＜決定事項＞

理事会で検討した結果、2020・2021年度支部学術部門員について承認された。

7月3日までに支部会に報告し幹事会で部門長を選考する。（各県1名）

＜研修会の開催について香西学術部長より説明＞

微生物研究班から研修会を開催したい旨希望が出ている。

＜意見交換＞

・荒井会長より

* 6月19日より1,000人または50%まで（コンサート、展示会等）、7月10日より5,000人までの指針があるが、研修会が何に当たるかは不明。

→香西学術部長

県外から講師を呼ぶのは構わないか。

→宮川副会長

特に規制はないと思う。

→荒井会長

日臨技の方が厳しいと思う。日臨技の場合は、参加者が新型コロナウイルスを疑う症状がある場合は参加を自粛する。当日はマスク着用とし、体温測定を行う。講師・座長は飛沫防止のためフェイスガードの着用を検討する。会場は使用機材やレーザーポインターなどは使用者が変わることに頻繁に消毒する。受付は透明アクリルや透明シートで間仕切りし来場者との接触を防護し、ソーシャルディスタンスを確保できるように目印を設置し、十分な受付時間を確保し、混雑緩和を心掛ける。演者と最前列との距離を十分に確保した運営に努め、換気や定期開放を行う。消毒液を設置するとある。

→香西学術部長

手指消毒液は経費で購入してよいか。

→宮川副会長

構わないと思う。

→多田監事

保健医療大学で地域連携推進事業の一環で少人数に対して「研究のやり方」の講習会を企画している。小施設分科会の人たちに声をかけようと思っている。この事業を研修会として開催したい。会場は本学大講義室を使用すればソーシャルディスタンスも確保できる。

→宮川副会長

学術部会の開催については。

→香西学術部長

現在検討中である。

＜決定事項＞

研修会の開催についてはソーシャルディスタンス等の対策を取っていれば開催は構わない。
手指消毒液は経費で購入してよい。

議事3. 日臨技・支部活動について

＜支部主催研修会について荒井会長より説明＞

→荒井会長

支部医学検査学会、支部主催研修会は年内の開催を中止とする。

＜全国「検査と健康展」について荒井会長より説明＞

→荒井会長

全国「検査と健康展」は開催を中止とする。各県の「検査と健康展」は出来るところはやってほしいと通達が来ている。例年保健医療大学の大学祭内で行ってきたが、今年度は大学祭が中止となっている。行うのであれば来年の2月までに開催することになっているが、企画は2カ月前までに行うことから、年内には企画書が必要。

＜意見交換＞

→小林広報部長

開催しないと公益法人としての立場にそぐわないのでは。

→立石事務局長

ソーシャルディスタンスの確保が難しいのでは。

→小林広報部長

今までのやり方では無理である。何か形を変えて出来ればとは思う。

→荒井会長

「検査と健康展」としては出来ないかも。

→多田監事

商店街で健康相談コーナーなどをやってみるはどうか。

→荒井会長

開催までまだ時間があるので、中四国支部の他県はどうするのかを聞いてみても良いのでは。

＜決定事項＞

「検査と健康展」については今まで通りの開催は難しい。

他県の動向を見て検討することにする。

＜初級・職能開発講習会について荒井会長より説明＞

数年前から日臨技から開催するように言われている事業である。香川県はまだ1度も開催はしていない。開催する場合は来年1月から2月の間で、卒後3年から10年の会員を対象に行う。企画は日臨技で行う。また動向を見ながら進めていく。

議事4. 精度管理委員会活動について

＜精度管理委員会活動について宮川副会長より説明＞

外部精度管理調査がメインですが、この事業は香川県からの受託事業である。先日今年度と来年度の精度管理専門委員が決まった。昨年は研修会を前倒ししたいという要望から精度管理調査を8月に実施したが、今年度は例年通り10月末に実施を考えている。10月28日（水）に配布する予定。学術部と相談しながら委員を決めていきたい。また、本年度「精度保証施設認証制度」審査（令和3年・4年度認証分）については、審査要求事項を対象としない。

＜決定事項＞

理事会で検討した結果、精度管理委員会活動について承認された。

議事5. PCR・検体採取研修会について

＜PCR・検体採取研修会について荒井会長より説明＞

日臨技から各都道府県衛生主管部局と連携が取れているかのアンケート調査に回答した。医務国保課から宮川副会長に連絡があり、研修会を開催した場合どれだけの人数が集まるのかを調査した。約30名が希望していることを伝えた。また、他県ではPCR検査の研修会開催について企画だけが4県、企画検討中が13県、主管部局からの連絡待ちが8県、未定が6県、計画がないが5県である。

＜意見交換＞

- ・荒井会長より
保健医療大学の希望者はどうか。
→多田監事
保健医療大学も貢献しようと動いていて、教える側でもできる人は居る。保健医療大学でもRT-PCR検査ができる人が何人かおり、人的支援という形で協力する体制を整えている。また、余っているPCRの機器の貸し出しも行う予定。
- 有江理事
研修会は香臨技が行うのか。
→宮川副会長
県が主催で、香臨技へ委託する形になる。
- 荒井会長
行政支援コースは1回10名程度、機器の新設コースは1回若干名なので、希望者数からすると何回か行わなければならない。

＜決定事項＞

コロナに関する検体採取講習会は出来ない。

議事6. その他

- ＜香川県地域包括ケアシステム学会の定款修正および理事の推薦について荒井会長より説明＞
香川県臨床検査技師会は広報啓発部会に割り振られており、委員を小林広報部長にお願いしている。コロナの関係で当初の予定よりは遅れている。今年度は検査技師会と栄養士会、歯科衛生士会がグループになっており、栄養士会が理事になっている。歯科衛生士会は地域包括ケア部会になっている。2年任期である。
- ＜香川県がん対策推進委員会の推薦について荒井会長より説明＞
委員が2年間で、今年度から宮川副会長にお願いする。部会委員は子宮がん部会が県立中央病院の下浦さん、大腸がん部会が小原經理部長である。
- ＜香臨技役員就任の挨拶状について荒井会長より説明＞
前回までは全国の技師会事務局と香川県の医療推進医療系の団体に送っていたが、今年は中四国の技師会の事務局と香川県の医療推進協議会と保健医療大学と賛助会員に送付した。
- ＜HPリニューアルについて荒井会長より説明＞
今現在コロナ情報ばかりになっているが、学術の行事があれば掲載していく。緊急情報として議決権行使について入れようとしたが、前野が残っていて入れられなかった。研修会中止の情報なども掲載予定。
- ＜新（再）入会研修会について荒井会長より説明＞
今年は18名程度である。研修会のみ行い、懇親会は行わない。例年7、8月頃であるが今年度は8、9月頃を予定。
- ＜決定事項＞
 - 日時：9月13日（日）9時～12時
 - 場所：保健医療大学
 - 内容：例年通り
 - ペットボトルの飲料水の用意
- ＜永年会員表彰について＞
対象者にカタログギフト（3,000円）を送る。
- ＜ALP、LDのIFCC法への移行について＞
移行期間は併記している施設が多い。
両方で測定している施設も、計算して併記する施設も有る。
- ＜日臨技のHPの権限について立石事務局長より説明＞
事務権限と学術権限のある方の入力ができるようにしてある。（事務局長、学術部長、班長等の新任の人を追加）
- ＜臨検タイムスについて小林広報部長より説明＞
HP上の掲載になった。

令和2年 7月 13日

一般社団法人香川県臨床検査技師会 令和2年第2回理事会において

議事録作成者	太田 安彦
代表理事（会長）	荒井 健
監事	多田 達史
監事	泉宮 剛

印

2020・2021年度 研究班 班長及び副班長名簿

役 職	氏 名	所 属
会 長	荒 井 健	香川大学医学部附属病院
学術部長	香 西 宣 秀	滝宮総合病院
副 部 長	熊 野 雅 英	オリーブ高松メディカルクリニック四国中検ラボ
会計・書記	田 村 順 子	滝宮総合病院
病理細胞診研究班		
班 長	虫 本 一 平	三豊総合病院
副班長	筒 井 真 人	高松赤十字病院
生物化学分析研究班		
班 長	田 村 順 子	滝宮総合病院
副班長	山 地 瑞 穂	三豊総合病院
副班長	山 本 由 紀	キナシ大林病院
輸血検査研究班		
班 長	鬼 松 幸 子	回生病院
副班長	渡 邊 良	香川労災病院
副班長	平 岡 希実子	四国こどもとおとなの医療センター
微生物検査研究班		
班 長	藤 川 栄 吏	香川労災病院
副班長	原 美佐子	香川県立中央病院
血液検査研究班		
班 長	杉 理 恵	香川県立中央病院
副班長	細 川 真 誠	(株)四国中検 香川検査所
情報システム研究班		
班 長	熊 野 雅 英	オリーブ高松メディカルクリニック四国中検ラボ
副班長	高 坂 智 則	高松赤十字病院
遺伝子・染色体検査研究班		
班 長	山 川 けいこ	香川大学医学部腫瘍病理学
副班長	南 原 しづえ	香川大学医学部附属病院
生理検査研究班		
班 長	藤 本 正 和	香川県立白鳥病院
副班長(神経生理)	山 本 裕 介	香川県立中央病院
副班長(呼吸循環)	大 森 浩 美	回生病院
副班長(画像)	中 石 浩 己	香川大学医学部附属病院
一般検査研究班		
班 長	竹 内 彰 浩	香川大学医学部附属病院
副班長	石 丸 雄 士	キナシ大林病院
小施設分科会		
班 長	藤 澤 千 絵	宇多津病院
副班長	長 町 美 香	辻クリニック
管理運営部門		
学術部長・副部長兼任	香 西・熊 野	

第44回 香川県医学検査学会 中止のお知らせ

第44回香川県医学検査学会は、新型コロナウイルス感染拡大のため開催を中止することになりました。
一般演題等はそのまま来年度に持ち越しとなります。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

2020年度 香臨技 新(再)入会研修会のお知らせ

日 時：2020年9月13日（日）9:00～12:00

場 所：香川県立保健医療大学

内 容：「香川県臨床検査技師会・日本臨床衛生検査技師会について」「医療事故防止について」

「香臨技の精度管理事業について」「技師会広報活動について」「研究班活動について」

備 考：今年度は研修会のみで、懇親会は行いません。

第69回 日本医学検査学会 のお知らせ

* 学会の会期・開催形式が変更になりました。
(2020.07.08)

第69回 The 69th JAMT CONGRESS 2020
日本医学検査学会

Jump to the
NEXT DECADE
臨床検査の新たな道を切り拓く

幕張メッセ

新会期 **2020年9月5日(土)・6日(日)**
[Web開催] **2020年10月1日(土)～31日(日)**

新会場 **幕張メッセ国際会議場・国際展示場8ホール**

学長 **山寺 幸雄** 福島県立医科大学附属病院
実行委員長 **柴田 昭浩** かしま病院

[主催]一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
[担当]一般社団法人 福島県臨床検査技師会

野口英世像

・編集後記・

7月に入り、そろそろ梅雨も明けるのでは・・と思っていたら、九州では豪雨で甚大な被害が出ているとのこと。自然災害は新型コロナウイルスの世界的流行も関係なく、襲って来ます。災害の恐ろしさ、命を守ることの大切さを感じるとともに、被災地の1日も早い復興を祈ります。

今年の夏は、コロナ流行の第2波の到来もささやかれ、夏本番が近づいても予定を入れるのに悩みますね。特殊な状況下ですが、自分にできることが何なのか考えて、危機を乗り越えていたら、と思います。

森本 弘美（香川県立中央病院）

～香臨技 求人情報～

現在、なかの循環器内科クリニック、香川大学医学部附属病院、その他の求人情報があります。詳しくは、香臨技ホームページの求人情報をご覧ください。
求人募集依頼の連絡先：太田 安彦（福祉部長・香川県立保健医療大学）
アドレス：oota@chs.pref.kagawa.jp

臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

Eメール：kobaboo0128@hotmail.co.jp

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

*香臨技ホームページ「会員専用」

（ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001）

臨検タイムス香川 通巻300号

【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13

事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 立石 謙也

【編集委員】 藤重和久 森西起也 森本弘美

【印刷】 有限会社シーアンドシーイシハラ

令和2年7月印刷・発行